

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	ヤマザキ動物看護大学
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
動物看護学部	動物看護学科	夜・通信	0	30	8	38	13	
	動物人間関係学科	夜・通信			3	33	13	
(備考) 各学科のみに開講している専門科目においても、他学科に在籍している学生が履修することを可能としている。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP 学年暦・各種規程等内にて「シラバス」を公表している。 「シラバス」内に、「実務経験のある教員等による授業科目」を各学科別（動物看護学科 P32、動物人間関係学科 P33）に掲載している。 https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/student/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ヤマザキ動物看護大学
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://yamazaki.ac.jp/img/business/riji2026.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	牧師	2025.5.29～3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで	法人経営・運営に係るチェック機能
非常勤	編集者	2025.5.29～3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで	法人経営・運営に係るチェック機能
非常勤	弁護士	2025.5.29～3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで	法人経営・運営に係るチェック機能
非常勤	設計事務所 代表取締役	2025.5.29～3年以内に終了する会	法人経営・運営に係るチェック機能

		計年度の うち最終の ものに関する 定時評議 員会終結の 時まで	
非常勤	総合病院 医師	2025.5.29～ 3年以内に 終了する会 計年度の うち最終の ものに関する 定時評議 員会終結の 時まで	法人経営・運営に係 るチェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ヤマザキ動物看護大学
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【作成について】 各授業科目のシラバスに関しては、毎年度、教務委員会及び第三者チェック担当委員教員（教務委員会にて決定）によるチェックを実施し、適正でないシラバスは、修正指示の下、科目担当教員が修正を行い、全科目のシラバスが適正な状況となった段階で、WEB 版シラバス「履修ガイド&シラバス」を作成している。 科目担当教員にシラバスのフォームを電子メールで送付し教員が作成後、事務担当者へ返信してもらい形式をとっている。オムニバス科目に関しては、主担当教員が他の教員を取りまとめて完成させている。	
【時期について】 シラバスは前年度の 11 月ごろより科目担当教員に作成の依頼をし、年明け 3 月上旬を目途に完成させている。また、シラバスの公表は 4 月上旬に当該年度 WEB 版シラバスを本学ホームページ上に公開し、各学年のオリエンテーションで学生、科目担当教員及び関係部署に周知している。	
授業計画書の公表方法	HP 学年暦・各種規程等内「シラバス」にて公表している。 https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/student/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則・履修規程及び各科目シラバスに記載の「評価方法」により、科目担当教員が履修学生の成績を評価する。その後、各学期末に開催される単位認定会議（全専任教員にて構成された会議）及び教授会にて、当該期の全履修者の成績について審議・承認し、単位を授与している。

(参考)「ヤマザキ動物看護大学動物看護学部履修規程より抜粋」

(成績評価)

第15条 履修科目の成績は、試験、追試験又は再試験の成績、授業への参加度、平常の学習状況等を勘案して、各担当者が総合評価する。

2 成績評価は、次の5段階とし、S、A、B及びCを合格、Dを不合格とする。

100点～90点 S

89点～80点 A

79点～70点 B

69点～60点 C

59点以下 D

3 再試験を経た場合の成績評価は、定期試験合格者の最低評価を超えないこととする。

4 Dは、合格に達しない成績評価、評価に値しない成績評価とする。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

① 履修規程により、成績評価、判定及びGP (Grade Point) は次のとおりとなっている。

評 定	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
評 価	S	A	B	C	D
判 定	合 格				不合格
G P	4	3	2	1	0

② GPA の計算方法

$$S \text{ の単位数} \times 4 + A \text{ の単位数} \times 3 + B \text{ の単位数} \times 2 + C \text{ の単位数} \times 1$$

履修登録単位数

なお、GPA の算出は評価が「認定」となる科目を除き、全ての科目が対象

(参考)「ヤマザキ動物看護大学動物看護学部履修規程より抜粋」

(GPA)

第16条 学業成績を総合的に判断する指標として、評定平均値(Grade Point Average 以下「GPA」という。)を用いる。

2 GPAは、授業科目の成績評価について、Sに4、Aに3、Bに2、Cに1、Dに0を評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、授業科目の総履修登録単位数で除して算出する。

なお、GPAの算出においては、成績評価が「認定」と表記された科目の単位数を含めないものとする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

HP 学年暦・各種規程等内「履修ガイド」
II 試験と評価 P15にて公表している。
<https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/student/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

① ディプロマ・ポリシー (卒業認定および学士の学位授与に関する方針)

動物看護学科

修業年限以上在籍し、所定の単位数を納め、次に掲げる学修目標に到達した学生に対して卒業を認定し、学士(動物看護学)の学位を授与する。

- (1) 本学の建学の精神及び教育理念を理解し、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を備え、豊かな人間性と幅広い視野を身につけている。
- (2) 動物看護学に関する基礎的理論・技術を修得している。
- (3) 高度化し、専門分化した動物医療において必要とされる応用的理論・技術及び問題解決力を修得している。
- (4) コミュニケーション能力と社会性を身につけ、専門職、指導者として、使命感を持ち、国際社会に貢献する動物看護師としての能力を身につけている。

動物人間関係学科

修業年限以上在籍し、所定の単位数を納め、次に掲げる学修目標に到達した学生に対して卒業を認定し、学士(動物看護学)の学位を授与する。

- (1) 本学の建学の精神及び教育理念を理解し、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を備え、豊かな人間性と幅広い視野を身につけている。
- (2) 動物人間関係学に関する基礎的理論・技術を修得している。
- (3) 多様化し、拡大化したペット関連産業において必要とされる応用的理論・技術及び問題解決力を修得している。
- (4) コミュニケーション能力と社会性を身につけ、専門職、指導者として、使命感を持ち、国際社会に貢献する人材としての能力を身につけている。

② 卒業要件「ヤマザキ動物看護大学学則より抜粋」

(卒業単位数)

第 22 条

本学を卒業するためには、次の各号により合計 124 単位以上の履修をしなければならない。

- (1) 教養教育科目 30 単位以上
- (2) 専門教育科目 94 単位以上

② 卒業判定

ヤマザキ動物看護大学「学則第 38 条」に則り、各科目シラバスに記載の「評価方法」に準じて、科目担当教員が履修学生の成績を評価し、学期末に開催される単位認定・卒業判定会議(全専任教員にて構成された会議)及び教授会にて審議・承認され、卒業要件を満たした学生について、学長が卒業を認定している。

(参考)「ヤマザキ動物看護大学学則より抜粋」

第 38 条 本学に 4 年以上在学(編入学等により入学した学生については、別に定める年限)し、本学則に定める授業科目の中から教養教育科目 30 単位以上及び専門教育科目 94 単位以上併せて 124 単位以上修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 前項による卒業認定は、学年末に行う。やむを得ない理由により、この認定を得られなかった者については、次年度前期にこれを行うことができる。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	<p>HP 3つのポリシー内にてディプロマ・ポリシーを公開している。 https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/policy.html</p> <p>HP 学年暦・各種規程等内ヤマザキ動物看護大学・大学院各種規程にて学則を公表している。 https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/student/</p>
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	ヤマザキ動物看護大学
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP「情報の公表」にて公開している。 https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/public.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/public.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/public.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 動物看護学部
教育研究上の目的（公表方法： https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/purpose/ ）
<p>(概要)</p> <p>ヤマザキ動物看護大学は、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に則り、建学の精神である「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を遵守し、「生命を生きる」を教育理念として、人間も動物も大自然の生態系の摂理の中で生き、生かされているという、原点を忘れずに、共鳴・共生する生命の思想を貫き、動物看護に関わる基本的な理論・技術を身に付け、専門的応用的能力を有する人材を養成することを目的とする。</p> <p>動物看護学及び動物人間関係学を教育研究の対象とし、動物愛護の精神に則り、人とコンパニオンアニマルとの関係に求められる豊かな人間性と幅広い視野を備え、動物看護学及び動物人間関係学に関わる研究及び専門的な理論・技術を教授することを目的とする。</p> <p>【動物看護学科】</p> <p>建学の精神及び教育理念を理解し、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を備え、豊かな人間性と幅広い視野を身に付ける。</p> <p>さらに動物看護学に関する基礎的理論・技術を習得、高度化、専門分化した動物医療において必要とされる応用的理論・技術及び問題解決力を習得。</p> <p>加えてコミュニケーション能力と社会性を身に付け、専門職、指導者として、使命感を持ち、国際社会に貢献する人材の育成を目的としている。</p> <p>【動物人間関係学科】</p> <p>建学の精神及び教育理念を理解し、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を備え、豊かな人間性と幅広い視野を身に付ける。</p> <p>さらに動物人間関係学に関する基礎的理論・技術を習得、多様化したペット関連産業において必要とされる応用的理論・技術及び問題解決力を習得する。</p> <p>加えてコミュニケーション能力と社会性を身に付け、専門職、指導者として、使命感を持ち、国際社会に貢献する人材の育成を目的としている。</p>
卒業又は修了の認定に関する方針
（公表方法： https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/policy.html ）
<p>(概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）</p> <p>修業年限以上在学し、所定の単位数を修め、次に掲げる学修目標に到達した学生に対して卒業を認定し、学士（動物看護学）の学位を授与する。</p> <p>【動物看護学科】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本学の建学の精神及び教育理念を理解し、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を備え、豊かな人間性と幅広い視野を身につけている。2. 動物看護学に関する基礎的理論・技術を修得している。3. 高度化し、専門分化した動物医療において必要とされる応用的理論・技術及び問題解決力を修得している。4. コミュニケーション能力と社会性を身につけ、専門職、指導者として、使命感を持ち、国際社会に貢献する動物看護師としての能力を身につけている。 <p>【動物人間関係学科】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本学の建学の精神及び教育理念を理解し、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思

<p>想と倫理観を備え、豊かな人間性と幅広い視野を身につけている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 動物人間関係学に関する基礎的理論・技術を修得している。 多様化し、拡大化したペット関連産業において必要とされる応用的理論・技術及び問題解決力を修得している。 コミュニケーション能力と社会性を身につけ、専門職、指導者として、使命感を持ち、国際社会に貢献する人材としての能力を身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/policy.html)</p>
<p>(概要) カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針) ディプロマ・ポリシーを教育課程に反映させるために、以下の教養教育科目、専門教育科目 (専門基礎科目・専門科目・総合科目) を配置する。</p> <p>【動物看護学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 教養教育科目では、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を身につけ、豊かな人間性と幅広い視野を養うために、人文社会系、自然科学系、言語と情報系等の科目を配置し、専門教育科目に繋げる。 専門基礎科目では、動物看護学に必要なとされる生命科学概論、動物看護学概論、動物人間関係学概論、動物形態機能学等の基礎的理論・技術を学修し専門科目への導入と位置づける。 専門科目では、高度化し、専門分化した動物医療に対応した科目を配置し、さらに特色ある科目として、動物医療コミュニケーション、動物口腔ケア論、動物リハビリテーション、高齢動物看護学、エキゾチックアニマル看護学等の科目を配置し、専門職としての応用的理論・技術及び問題解決力を学修する。 総合科目では、研修・ボランティア活動、アッセンブリーアワー (自校教育・キャリア教育)、インターンシップ、卒業論文等の科目を通して社会性を養い、人間形成及び社会人としての基礎力・指導力を構築する。 <p>【動物人間関係学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 教養教育科目では、動物愛護の精神に則り、人と動物の共生思想と倫理観を身につけ、豊かな人間性と幅広い視野を養うために、人文社会系、自然科学系、言語と情報系等の科目を配置し、専門教育科目に繋げる。 専門基礎科目では、動物人間関係学に必要なとされる生命科学概論、動物看護学概論、動物人間関係学概論、動物形態機能学等の基礎的理論・技術を学修し専門科目への導入と位置づける。 専門科目では、多様化し、拡大化したペット関連産業等に対応して、ヒトと動物の関係学、公衆衛生学、有害動物学、動物園・水族館論、ペット関連産業論、アニマルアシステッドセラピー論、アシスタンスドッグ論等の特色ある科目を配置し、専門職としての応用的理論・技術及び問題解決力を学修する。 総合科目では、研修・ボランティア活動、アッセンブリーアワー (自校教育・キャリア教育)、インターンシップ、卒業論文等の科目を通して社会性を養い、人間形成及び社会人としての基礎力・指導力を構築する。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/policy.html)</p>
<p>(概要) アドミッション・ポリシー (入学者受入方針) 【動物看護学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> 本学の建学の精神及び教育理念に共感する者。 動物に深い理解と愛情を持ち、人と動物の豊かな共生を目指す者。 動物看護学に興味を持ち教育研究に必要な基礎学力を有する者。 社会の一員として国際的な視野に立ち、コミュニケーションを大切に、自ら学び、解

決策を見出すための努力ができる者。

【動物人間関係学科】

1. 本学の建学の精神及び教育理念に共感する者。
2. 動物に深い理解と愛情を持ち、人と動物の豊かな共生を目指す者。
3. 動物人間関係学に興味を持ち教育研究に必要な基礎学力を有する者。
4. 社会の一員として国際的な視野に立ち、コミュニケーションを大切に、自ら学び、決策を見出すための努力ができる者。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/course/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					人
動物看護学部	—	17人	5人	3人	5人	13人	44人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		34人					34人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： 【学位】 https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/course/teachers_list.html 【業績】 https://gyoseki.acoffice.jp/yguhp/KgApp/TOP 【刊行物】 ：「ヤマザキ動物看護大学年報」 【入手方法】 ：希望者に配布					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
日 時：令和7年9月8日（月）15時30分～17時00分							
内 容：若年層の性暴力被害予防の取り組みについて 内閣府「若年層の性暴力被害予防啓発のためのオンライン研修」内教材視聴及びディスカッション							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
動物看護学部	193人	221人	114.5%	772人	949人	122.9%	若干名	0人
合計	193人	221人	114.5%	772人	949人	122.9%	若干名	0人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
動物看護学部	223人 (100%)	0人 (0%)	201人 (90.1%)	22人 (9.9%)
合計	223人 (100%)	0人 (0%)	201人 (90.1%)	22人 (9.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
株式会社 JPR プリモ動物病院グループ、株式会社荏谷動物病院グループ、小滝橋動物病院グループ、VCA				

JAPAN 動物病院グループ、エルザ動物医療センター、株式会社ペティオ、ジャペル株式会社、エコートレーディング株式会社、株式会社レティシアン、東京建物リゾート株式会社、アニコム損害保険株式会社、アイペット損害保険株式会社、株式会社 AHB、株式会社アミーゴ、三協ラボサービス株式会社、株式会社シー・アイ・シー、JA 全農くみあい飼料株式会社、株式会社マザー牧場、小泉アフリカライオン・サファリ株式会社、学校法人ヤマザキ学園 等

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
動物看護学部	235人 (100%)	209人 (88.9%)	8人 (3.4%)	15人 (6.4%)	3人 (1.3%)
合計	235人 (100%)	209人 (88.9%)	8人 (3.4%)	15人 (6.4%)	3人 (1.3%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>以下のとおりシラバスを作成し、公表・実施している。</p> <p>① 各授業科目のシラバスに関しては、毎年度、教務委員会及び第三者チェック担当委員教員（教務委員会にて決定）によるチェックを実施し、適正でないシラバスは、修正指示の下、科目担当教員が修正を行い、全科目のシラバスが適正な状況となった段階で、WEB版シラバス「履修ガイド&シラバス」を作成している。 科目担当教員にシラバスのフォームを電子メールで送付し教員が作成後、事務担当者に返信してもらう形式をとっている。オムニバス科目に関しては、主担当教員が他の教員を取りまとめて完成させている。</p> <p>② シラバスは前年度の11月ごろより科目担当教員に作成の依頼をし、年明け3月上旬を目途に完成させている。また、シラバスの公表は4月上旬に当該年度WEB版シラバスを本学ホームページ上に公開し、各学年のオリエンテーションで学生、科目担当教員及び関係部署に周知している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>① 履修登録単位数の上限設定（CAP制） 1学期ごとの履修単位数の上限を22単位として、適切な学修時間を確保することとしている。 ただし、履修単位数に含めない科目を一部設けている。</p> <p>② 成績評価、判定及びGP（Grade Point）は次のとおり</p> <table border="1"> <tr> <td>評 定</td> <td>100～90点</td> <td>89～80点</td> <td>79～70点</td> <td>69～60点</td> <td>59点以下</td> </tr> <tr> <td>評 価</td> <td>S</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>判 定</td> <td colspan="4">合 格</td> <td>不合格</td> </tr> <tr> <td>G P</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>③ GPAの計算方法</p>	評 定	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	評 価	S	A	B	C	D	判 定	合 格				不合格	G P	4	3	2	1	0
評 定	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下																			
評 価	S	A	B	C	D																			
判 定	合 格				不合格																			
G P	4	3	2	1	0																			

$$\frac{S \text{ の単位数} \times 4 + A \text{ の単位数} \times 3 + B \text{ の単位数} \times 2 + C \text{ の単位数} \times 1}{\text{履修登録単位数}}$$

履修登録単位数

なお、GPA の算出は評価が「認定」となる科目を除き、全ての科目が対象

上記に基づき、半期ごとに GPA を算出し、ひとつの学期における GPA が 1.0 未満の学生については、クラスアドバイザー及びアシスタントアドバイザーから注意と学修指導を行い、1.0 未満の学期が 2 回以上連続した場合は、クラスアドバイザー及びアシスタントアドバイザー、学生及び保証人と 4 者で話し合いを実施し、注意と学修指導を行っている。

④ 卒業判定

学則第 38 条に則り、シラバス記載の「評価方法」に準じて、教員から提出された評価を基に、学期末に開催される卒業判定会議（全専任教員にて構成された会議）及び教授会にて審議・承認され、単位を授与し、学長が卒業を認定している。

(参考)

(卒業の認定)

第 38 条 本学に 4 年以上在学（編入学等により入学した学生については、別に定める年限）し、本学則に定める授業科目の中から教養教育科目 30 単位以上及び専門教育科目 94 単位以上併せて 124 単位以上修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 前項による卒業認定は、学年末に行う。やむを得ない理由により、この認定を得られなかった者については、次年度前期にこれを行うことができる。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
動物看護学部	動物看護学科	124 単位	有	44 単位/年
	動物人間関係学科	124 単位	有	44 単位/年
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 :

<キャンパス紹介>

<https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/campus.html>

<大学関連施設>

<https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/about/kyouiku-support/facility.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
動物看護 学部	動物看護 学科	900,000 円	250,000 円	550,000 円	【その他】 実習費及び施設費の合計
	動物人間 関係学科	900,000 円	250,000 円	550,000 円	【休学費】 授業料・実習費は免除となる が、在籍料 (施設費) を徴収

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 1. クラスアドバイザー制度 専任教員がクラスアドバイザーとして各クラスを担当し、学年主任、副主任、アシスタントアドバイザーが連携して、学生からの履修相談、履修指導・助言の他、学生生活全般についての相談にきめ細かく応じている。 また、半期ごとに GPA を算出し、ひとつの学期における GPA が 1.0 未満の学生については、クラスアドバイザー及びアシスタントアドバイザーから注意と学修指導を行い、1.0 未満の学期が 2 回以上連続した場合は、クラスアドバイザー及びアシスタントアドバイザー、学生及び保証人と 4 者で話し合いを実施し、注意と学修指導を行っている。 2. オフィスアワー 専任教員は毎週授業 2 コマ分に相当する時間をオフィスアワーとし、学生からの相談等を受けている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 就職支援プログラム (4 つの大きな連携体制) 一人ひとりの就職希望を実現するため、就職委員会+キャリア支援センター+クラスアドバイザー (アシスタントアドバイザー) +卒業論文指導担当教員が連携して、きめ細やかな個別支援に努めている。 キャリア支援センターは、学生の相談窓口として対応している。また、本学教職員で構成する就職委員会や学生を一番身近で指導しているクラスアドバイザー (担任) や、卒業論文指導担当教員との連携により、きめ細やかな個別支援に努めている。 入学時から卒業までの 4 年間を通し、インターンシップ、就職支援講座、病院・企業説明会などを実施するほか、本学の教育やネットワークを活かしサポートしている。 1 年次 (社会人に必要な基本的スキルを修得) 就職支援プログラム「1 年生のためのキャリアガイダンス①」で、自分を知り” 就職とは、社会人とは” について考え、充実した学生生活の計画を立てる。また、1 年次から 4 年次まで開講されるアッセンブリーアワーⅠ～Ⅳ (必修) では、国内外における動物看護の歴史や社会的な役割について等、キャリア教育を実施している。 2 年次 (自己分析・自己理解を深め、職業について知る) 就職支援プログラム「2 年生のためのキャリアガイダンス①」で、適職診断テストを行い、自分と職業を考える。「2 年生のためのキャリアガイダンス②③」では、本

格化する前の就活準備を一足早く進める。キャリアマネジメント（選択）では、ワークシート作成による自己分析を行い、自分の強みと弱みを知ることで学生生活とキャリア意識を明確化させる。

3 年次（就職活動の実践的な能力を身につける）

就職支援プログラム「就職・インターンシップセミナー」等を、動物病院希望者向け、一般企業希望者向けにそれぞれ実施。就活塾として、現役人事担当者による「書類添削」、「面接指導」、「グループディスカッション」、「グループ面接体験会」などを開催。また、インターンシップ（選択）では対策講座を受講した上で企業や動物病院での就業体験を行う。

4 年次（個別指導で就職決定力をつける）

一人ひとりの進路希望に合わせて、履歴書・エントリーシート等の試験対策支援、模擬面接支援、就職活動状況調査を実施し、円滑に活動ができるよう個別支援を行う。就職活動継続者については、「フォローアップセミナー」「ハローワーク相談会」を開催し、引き続き学園のネットワークを活かしてサポートを行う。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

1. 学生相談室

月曜日・木曜日及び金曜日の 9:30～17:00 に、カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が、学生が自分らしく成長することをサポートしている。

また、個人情報の保護を遵守し、人間関係・学業や進路、心身の健康や家庭などについて一緒に考え、学生それぞれの特性を生かし、次のステップへと安心して踏み出せるようサポートしている。

2. 学校医及び医務室

学校医は、看護師と連携を取って、学生の健康管理及び指導を実施している。医務室に看護師が常駐し、月曜日から土曜日（土曜日は隔週）の 9:00～17:00 まで、体調不良学生の休養の場としている他、健康相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/public.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。